

ふるしき王子

横山 功

Isao Yokoyama

よこやま いさお
1979年、浅草生まれ。武蔵野美術
大学卒。
風呂敷に魅せられて以来、新たな包み方を
日々開発しながら風呂敷のあるライフスタ
イルを提案する。また使い方を伝えるだけ
でなく、自ら風呂敷づくり(藍染め)も行っ
ていく。特技はナンバ歩き。テレビ、ラジオ、雑誌
などメディアへの出演や掲載も多数。



風呂敷との出会いは？

家の押入れに包装紙や紙袋がたくさんあって、なんとかならないかなって思っただけです。捨てるに使うことを考えたけどなかなかいい方法が思いつかなかった。じゃ、何なら捨てないだろうって考えて、布ならいいんじゃないかと。つまりそれが風呂敷だったんです。

その後、おばあちゃんのタンスから風呂敷を探し出して旅に出かけました。そうしたらもう、こんなに便利なものはない！って思いましたね。

僕は風呂敷で海外へ行ったこともありましたが、スリにも遭いませんでした。バッグより安全なんじゃないかな。外国人にしたら、風呂敷は見たこともなくて得体がしれない。だから手が出せない。それに盗んだあとも、あれを持って歩いていたら逆に目立つちゃいますから(笑)。



風呂敷はたくさんの可能性を秘めています

よくエコバッグと比較されるけど、そうじゃないんです。あくまで風呂敷の機能のひとつとしてバッグがあると捉えるべき。ただの四角い布が何にでも形を変えるんだって。

いつ頃から風呂敷はあったのですか？

風呂敷という名前がついたのはおそらく室町時代だけど、こういう布の使い方は縄文時代からあったと思っています。もちろんその頃は、名前さえなかったかもしれないけど。

縄文時代には浪漫を感じます。この時代についてはまだわからないことも多いけど、階級や差別、争いのない社会だったといわれていますね。それに死ぬとありあわせで、毎日がすごく生命感あふれていたに違いない。縄文土器や土偶は不思議な形をしているけど、命の喜びや響きを表現したらあんな楽しげなかな。芸術家です。

それから一万年も続いたこの時代が土台になって今の日本があるとも思う。そのあと日本には大陸からいろんな文化が入ってきたけど、それらを日本流にできたのもこの土台があったからだと思っています。



縄文時代にはどんな素材を使っていたんでしょう？

主に大アサでしょうね。麻は夏涼しいし、重ねて着たら温かいですよ。木綿が広がったのは、江戸時代だと思えます。日本では素材のよさを活かしながら、風土に合わせて形や染め、織りが工夫されていった。日本は湿気が多いから、形をつくと乾きにくくなると布が劣化しやすい。だから形は変えずに、そのまま使える方法を考えたんでしょう。風呂敷や着物がまさにそうです。

僕は店で売っているものに着たいと思う服がないから、古い着物をほどこいてつくり直しています。あと、ふんどしね(笑)。それから帯をすると、からだの重心が下がるからいいんですよ。

僕のからだの重心は
足の裏にあります



からだの重心は低い方がいいんですか？

そうですね。なぜなら、土台は低い方が安定するでしょ。幕末の志士の写真を見ると、小さいのにどっしりしてますよね。なで肩で華奢なのに免許皆伝の腕を持つていたり、大男を投げ飛ばしたり。カッコいいですよ。風呂敷を背負って歩くときも腕力で支えると効率が悪いです。重心を意識して下半身を中心に荷物と一体になるとよい。

重心はいわゆる血の集まる場所、つまりよく使うところに決まります。頭で考える人は頭、感情をよく使う人は胸のあたりという風に。僕は高校生るときから重心を考えるようになって、その頃は肩より上にあっただけど今は足の裏です。

重心を下げる秘訣は？

「下げよう、下げよう」なんて頭で考えたら、逆に上がっちゃうからダメ(笑)。

それから自分を大切に、魂が喜ぶように身の回りを整えること。自分のコンディションがよくないと、周りの人にもよくできません。だから傲慢になるんじゃなくて、安定したマイペースを保つのは大切です。

風呂敷は身の回りを整えるのに使えますね。

すごく便利だし、具体的に目に見える。だからいいんです。もっと風呂敷が使われて欲しいですね。できれば小学校の必修科目にしたい(笑)。

もしデザインが古臭くて気に入らないなら、自分の好きな布を買ってきてつくればいいですよ。それから、ただ結び方を覚えるんじゃなくて臨機応変な創造をしていつて欲しい。それは非常時にも役立ちます。僕は最近、一枚布でできるリュックサックを思いついたけど、折り紙と一緒にレパートリーは想像以上です。



自然に下半身に意識がいくように、実際に使ったりするといいんです。だから帯を締めるのもいい。そうすると締められた部分が反発して筋肉がつくし、冷えからも守られる。

僕は歯が一本しかない下駄を履いて京都へ旅行に行ったことがあるんだけど、坂道ばかりで油断すると転びそうになる。もう必死です。

そのときに気づいたのが、何かに意識を向けていると頭で余計なことを考えられないから、悩みがなくなります。悩むにもエネルギーがあるから。人は食べすぎか余裕があるときに悩むんだと気づきました(笑)。

からだのことを意識し始めたのはいつ頃ですか？

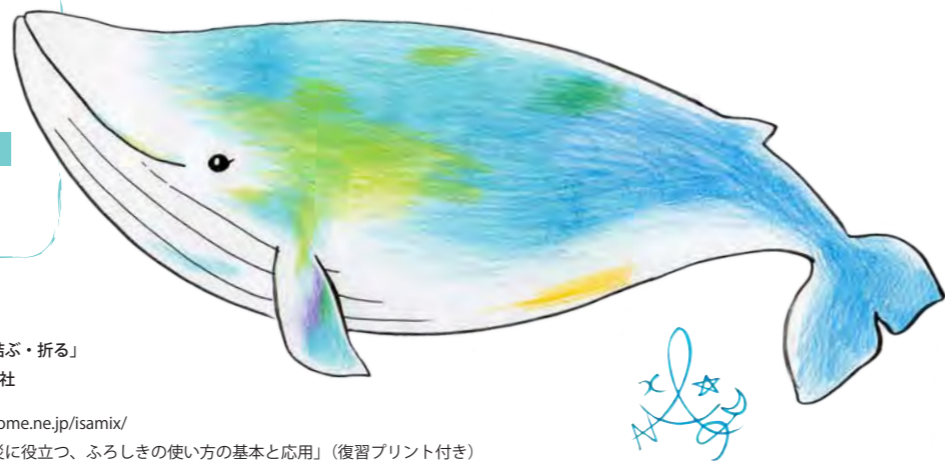
実は昔、歩いたり走ったりが苦手で体育がずっと「1」だったんです。それで二十歳を過ぎてから楽な歩き方を探し始めて、お腹をひねらないようにしたり、ヒョコヒョコ歩いたりしたら意外と歩きやすかった。それがナンバ歩きでした。あと、手をグーにすると力んでからだが固まるから、人差し指を伸ばすといい。肩の力が抜けますよ。

では最後にひと言お願いします。

うーん、すぐに思いつかないな(笑)。じゃあ、それを今の僕のラッキーアイテムから導き出してみましようか。まず、白い、動物、冷たくない(体温)、魚っぽい、日本にいない(サイズ)…。結果的にはクジラでした。クジラは大きいから、そのメッセージは

人はすごいものだから
夢は大風呂敷で！

イラスト=横山 功
インタビュー・編集=宮川江里
撮影・デザイン=岩田良子



質問コーナー

Q 小さい頃は何になりたかった？

生き物が好きで、ペットショップをやりたいかった

Q いま1番欲しいものは？



田畑のできる
広い庭

Q これまでの人生で大きな影響を受けたことは？

祖父の、底の見える隅田川で泳いでいたという話

Q 日本の好きなおとこ、嫌いなおとこは？

好きなおとこ：潜在的に自然が豊かなおとこ
嫌いなおとこ：地域の特徴が失われてきているおとこ

Q 生まれ変わったら何になりたい？



蛙になって
田んぼを
冒険したい

Q 好きな言葉は？

全体は個人のために、個人は全体のために



「ふろしきで遊ぼう 1枚の布で包む・結ぶ・折る」
横山 功 (著) 1,680円 (税込み) いかだ社

ホームページ <http://members2jcom.home.ne.jp/isamix/>

出張講座を承っております。「日常や防災に役立つ、ふろしきの使い方の基本と応用」(復習プリント付き)

講座の時間や料金は、ご都合や予算で相談に応じますので、お気軽にお問い合わせください。メール isamix@gmail.com